

平成 2 1 年 3 月期 第 2 四半期 決算説明資料

1

連結業績の概要

2

連結業績について

3

市場動向について

4

平成 2 1 年 3 月期 業績予想

5

その他の情報

We Secure the Future

思いをかなえる 技術で見つめる 確かな未来



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

連結業績概要 前年同期比

売上高 郵政民営化向け機器やたばこ販売機の成人識別対応など大口需要があった前年同期に比べ減少。

利益 売上高の減少に伴い、減少。

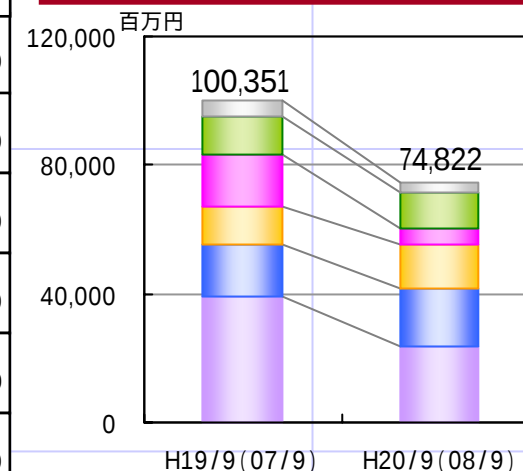
(百万円)	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比	平成21年3月期 第2四半期(累計) 予想 (平成20年8月8日時点)
売上高	100,351	74,822	25.4%	80,000
営業利益	14,853 (14.8%)	6,848 (9.2%)	53.9%	7,000 (8.8%)
経常利益	14,745 (14.7%)	7,246 (9.7%)	50.9%	7,000 (8.8%)
当期純利益	8,712 (8.7%)	4,661 (6.2%)	46.5%	5,000 (6.3%)

市場別・セグメント売上高

(百万円)

市 場	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
金融機関	39,411	23,685	39.9%
海 外	15,723	18,014	+14.6%
流通・交通	11,928	13,698	+14.8%
自動販売機	16,230	4,951	69.5%
遊 技	12,094	11,387	5.8%
一 般	4,965	3,087	38.2%

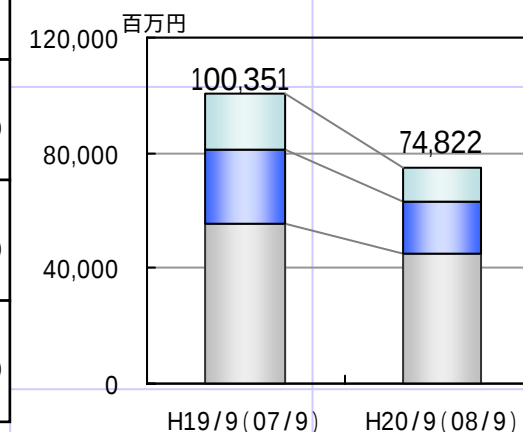
全市場



(百万円)

セグメント	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
貨幣処理機 及び貨幣端末機	55,458	44,997	18.9%
自動販売機 及び自動サービス機器	25,697	18,284	28.8%
その他の商品 及び製品	19,195	11,540	39.9%

全セグメント



● 基幹商品の需要が減少

前年同期は郵政民営化に向けた大口需要が業績に貢献。

同対象製品のオープン出納システム、窓口用入出金システムのユニット等の販売が大きく減少。

【前年同期比】 39.9%減

業績に影響した主な製品

- ↓ オープン出納システム「WAVEシリーズ」
- ↓ 窓口用入出金システムのユニット



オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用入出金システム
のユニット

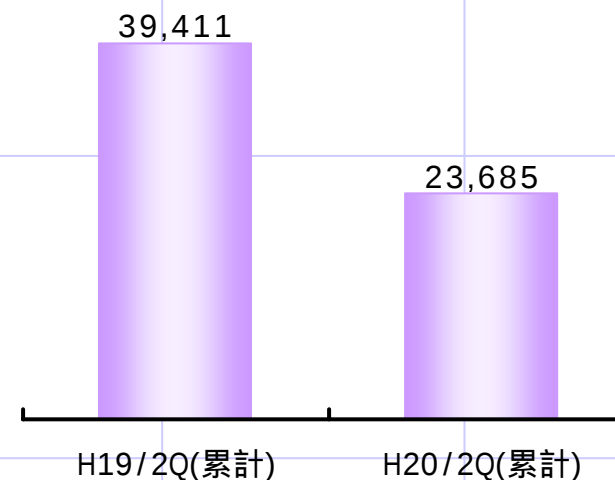
市 場	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
金融機関	39,411	23,685	39.9%

売上高構成比率

39.3% → 31.7%

売上高

(単位: 百万円)



● ATM用ユニットの需要が拡大

ATM用紙幣入金ユニットの販売が大幅に増加。
窓口用紙幣入出金機は、スペイン向けを除き
堅調に推移。

【前年同期比】 14.6%増

業績に影響した主な製品

- ↑ ATM用紙幣入金ユニット「UDシリーズ」
- ↑ 窓口用紙幣入出金機「RZシリーズ」
- ↓ 窓口用紙幣入出金機「RBUシリーズ」



ATM用紙幣入金ユニット
UDシリーズ



紙幣入出金機
RZシリーズ



紙幣入出金機
RBUシリーズ

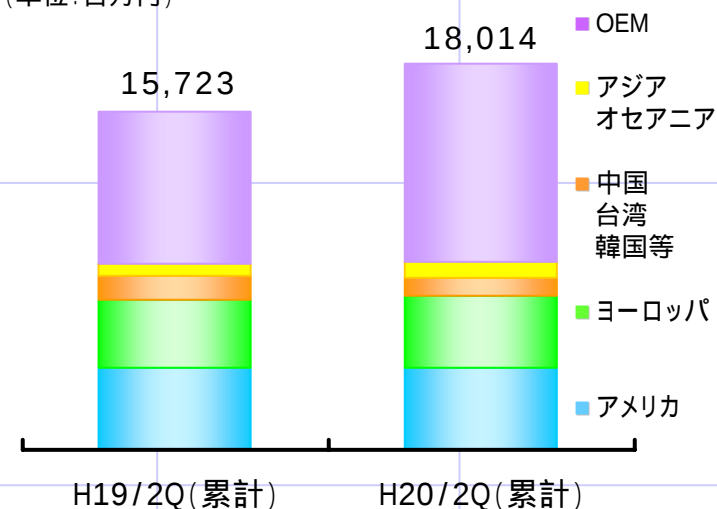
市 場	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
海 外	15,723	18,014	+14.6%

売上高構成比率



売上高

(単位:百万円)



● レジつり銭機の需要が拡大

スーパーや専門店などを中心に、レジつり銭機の需要が拡大。

新製品の売上金入金機の販売も堅調に推移。

【前年同期比】 14.6%増

業績に影響した主な製品

↑ レジつり銭機「RT・RADシリーズ」

↑ 入金機「DS-700」



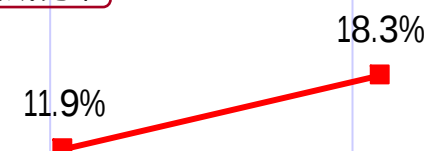
レジつり銭機
RT・RADシリーズ



入金機
DS-700

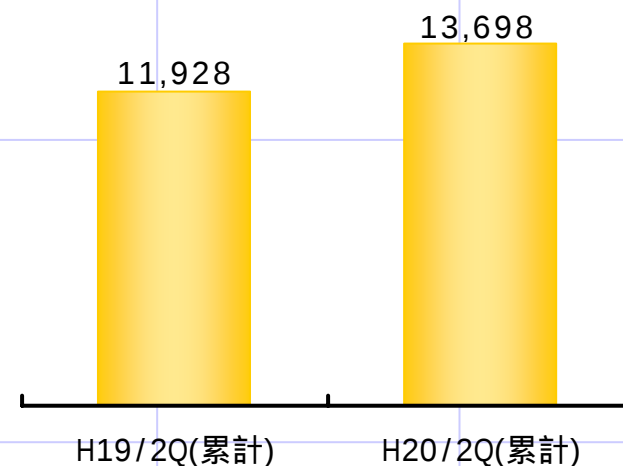
市 場	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
流通・交通	11,928	13,698	+14.6%

売上高構成比率



売上高

(単位:百万円)



自動販売機市場

● たばこ販売機の需要が大幅に減少

成人識別機能付きたばこ販売機の需要は第1四半期までに終息。

たばこの購入先は自動販売機からコンビニエンスストア等に移行。

【前年同期比】 69.5%減

業績に影響した主な製品

↓ たばこ自動販売機

たばこ販売機
TNRシリーズ



市場	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
自動販売機	16,230	4,951	69.5%

売上高構成比率

16.2%

6.6%

売上高

(単位:百万円)

16,230

4,951

H19/2Q(累計)

H20/2Q(累計)

● 業界全体の低迷により投資が低調

カードシステムの販売は堅調に推移。
設備投資抑制は続き、周辺機器の販売は低調。

【前年同期比】 5.8%減

業績に影響した主な製品

↑ ICカードシステム NASCA G8

↓ 景品自動払出機



「NASCA G8」

デビット券売機
JCH-20



CRユニット
JCP-30



景品自動払出機
JK-200N

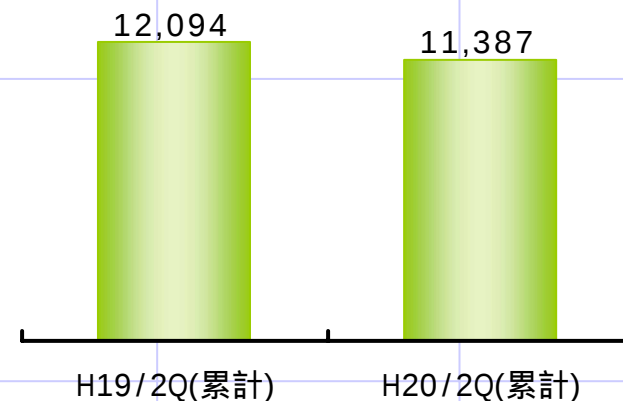
市場	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
遊技	12,094	11,387	5.8%

売上高構成比率



売上高

(単位:百万円)



● 自動契約受付機が減少

病院向けの診療費支払機、カード関連製品は堅調に推移。

消費者金融向け自動契約受付機が低調。

【前年同期比】 38.2%減

業績に影響した主な製品

↑ 診療費支払機「FKシリーズ」

↑ カード関連製品

↓ 自動契約受付機「FVKシリーズ」



診療費支払機
FKシリーズ



カード関連製品
カード対応食堂システム



自動契約受付機
FVKシリーズ

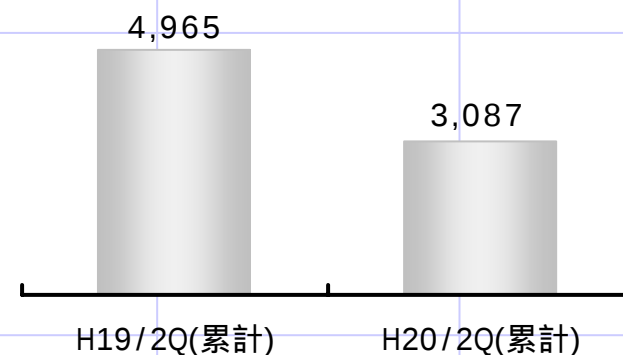
市 場	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
一 般	4,965	3,087	38.2%

売上高構成比率



売上高

(単位:百万円)



● 成人識別関連の改造作業が減少

オープン出納システムの契約増加により、売上高は堅調に推移。

成人識別機能付きたばこ販売機の改造売上が減少。

【前年同期比】 16.5%減

業績に影響した主な製品

↓ たばこ自動販売機の成人識別改造



たばこ販売機の改造風景

市 場	平成20年3月期 第2四半期(累計)	平成21年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比
保守売上高	19,620	16,373	16.5%

売上高構成比率

19.6% 21.9%

売上高

(単位:百万円)

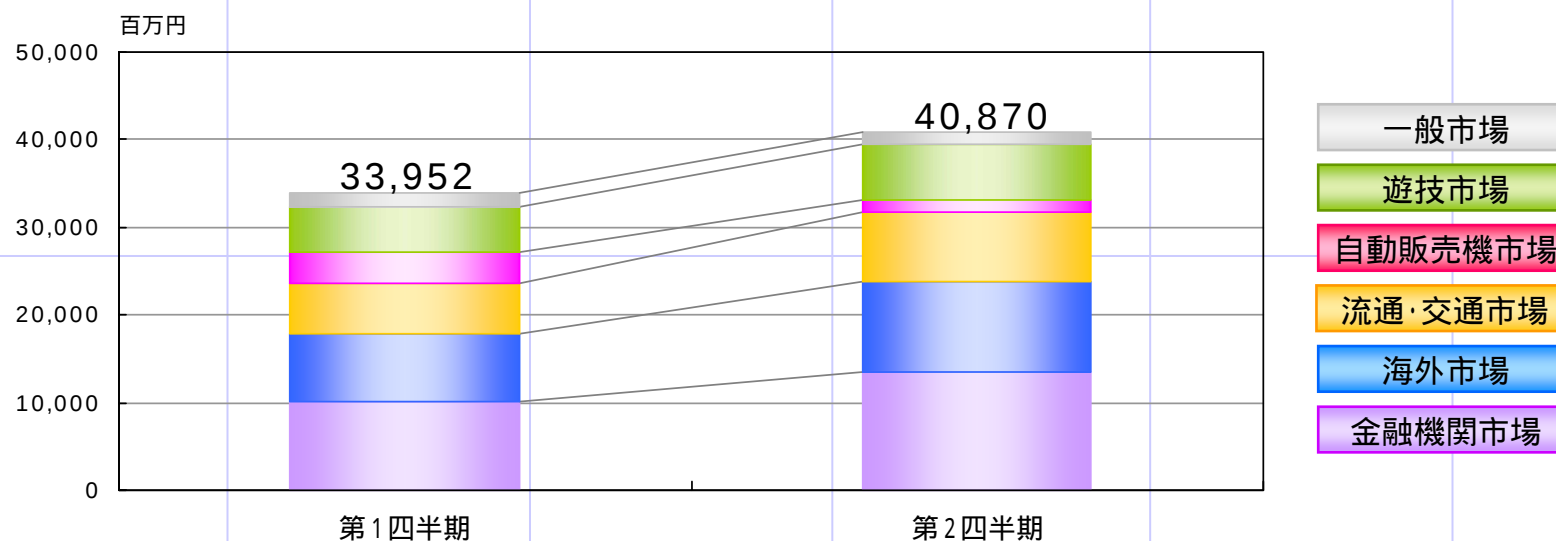
19,620

16,373

H19/2Q(累計)

H20/2Q(累計)

四半期毎の市場別売上高



平成21年3月期	第1四半期	第2四半期	第2四半期(累計)
国内金融機関	10,130 (29.8%)	13,555 (33.2%)	23,685 (31.7%)
海 外	7,665 (22.6%)	10,348 (25.3%)	18,014 (24.1%)
金融機関 合計	17,796 (54.2%)	23,903 (58.5%)	41,699 (55.7%)
流通・交通	5,902 (17.4%)	7,796 (19.1%)	13,698 (18.3%)
自動販売機	3,522 (10.4%)	1,429 (3.5%)	4,951 (6.6%)
遊 技	5,074 (14.9%)	6,313 (15.4%)	11,387 (15.2%)
一 般	1,658 (4.9%)	1,429 (3.5%)	3,087 (4.1%)
合 計	33,952 (100.0%)	40,870 (100.0%)	74,822 (100.0%)

()は構成比を表しています。

損益計算書

(単位:百万円)

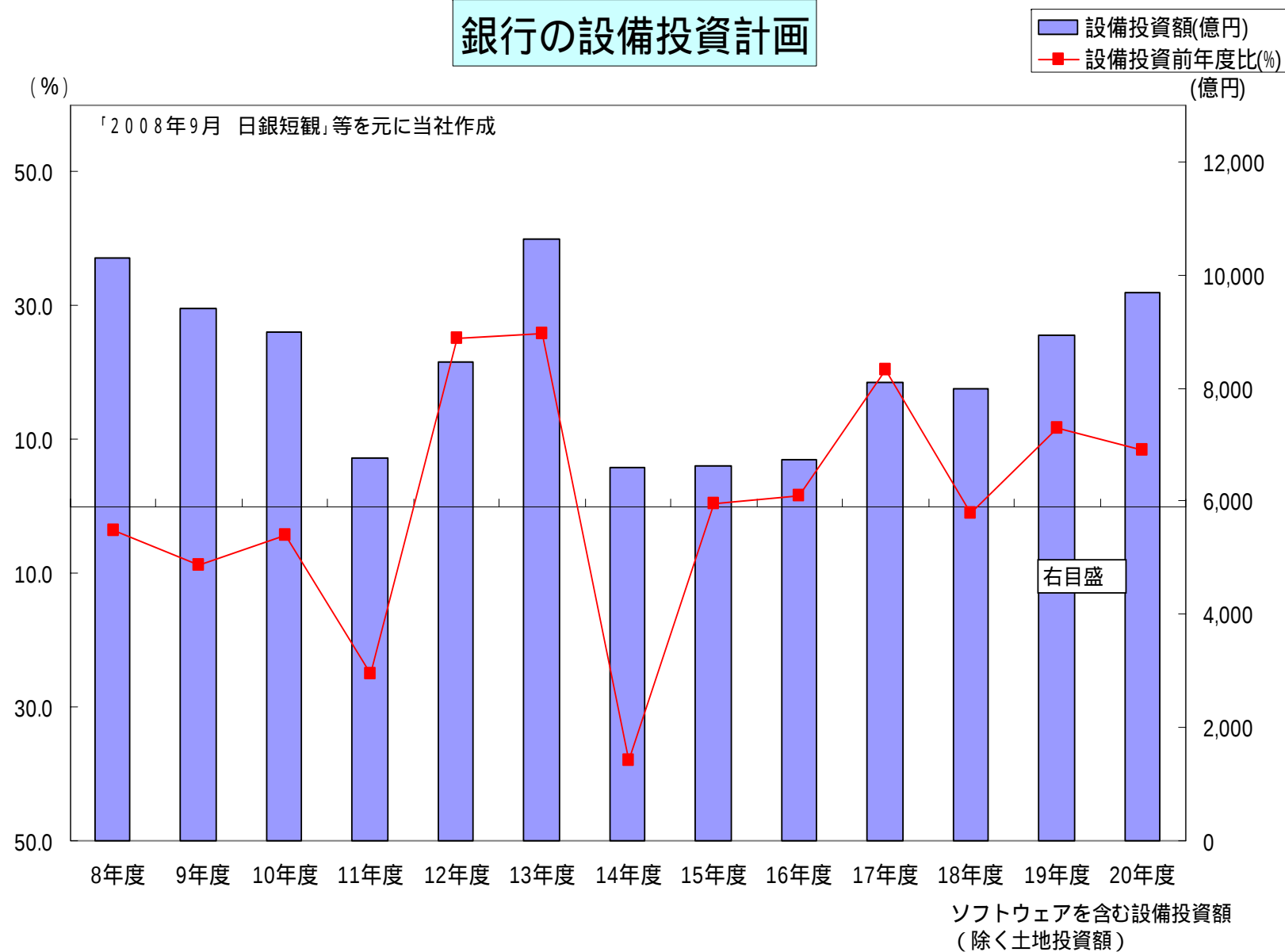
(百万円)	平成20年3月期 第2四半期 累計期間	百分比 (%)	平成21年3月期 第2四半期 累計期間	百分比 (%)	増 減
売上高	100,351	100.0	74,822	100.0	25,529
売上原価	63,335	63.1	46,470	62.1	16,865
販管費	22,162	22.1	21,504	28.7	658
営業利益	14,853	14.8	6,848	9.2	8,005
営業外収益	881	0.9	829	1.1	52
営業外費用	989	1.0	431	0.6	558
経常利益	14,745	14.7	7,246	9.7	7,499
特別利益	35	0.0	43	0.1	8
特別損失	442	0.4	351	0.5	91
税金等調整前 四半期純利益	14,337	14.3	6,938	9.3	7,399
法人税等調整額	5,491	5.5	2,276	3.0	3,215
四半期純利益	8,712	8.7	4,661	6.2	4,015

原価率：コストダウン活動の成果やたばこ販売機の成人識別対応が完了したことにより低下

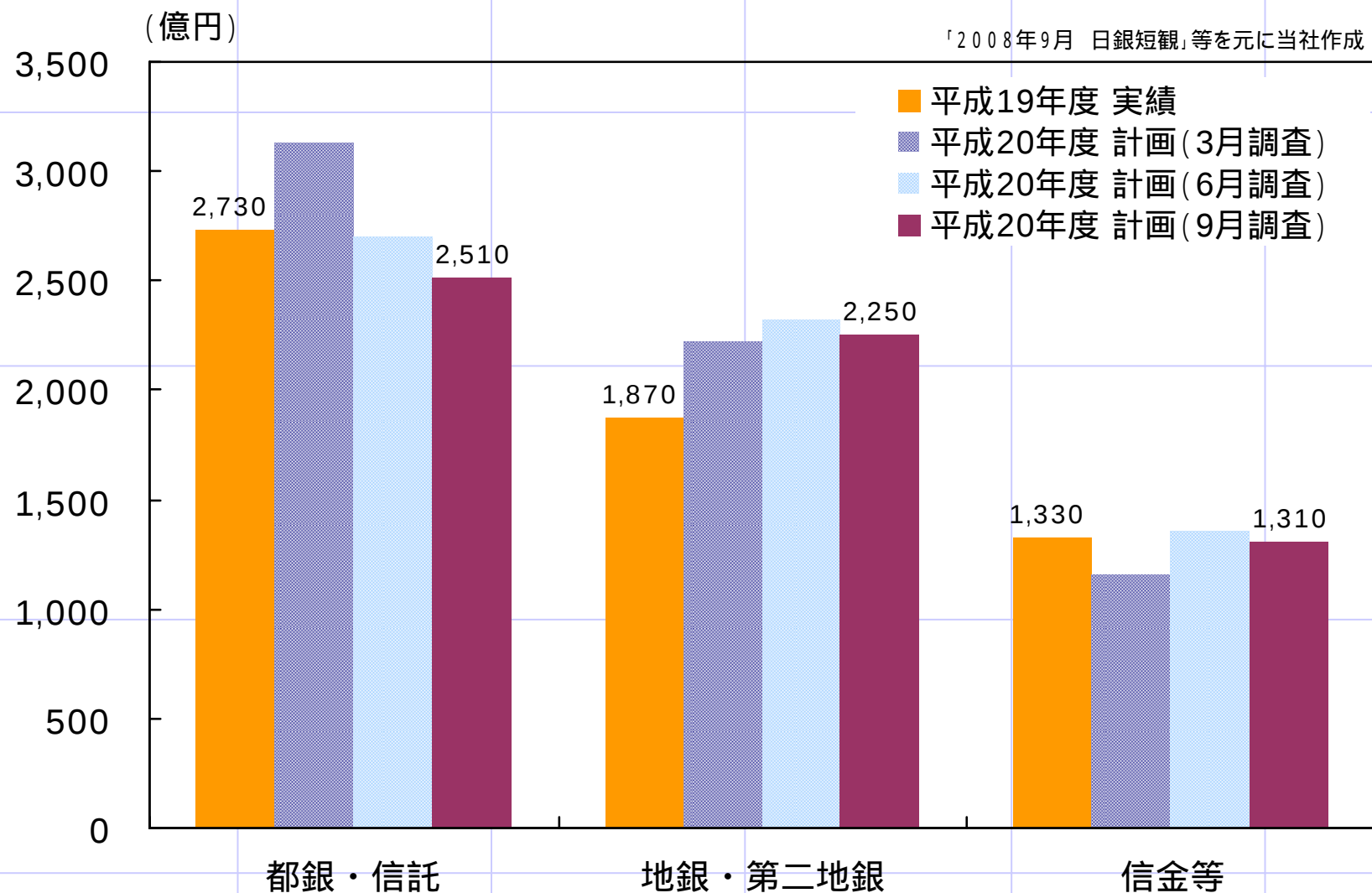
営業外費用：為替差損197百万円などが発生

特別損失：投資有価証券の評価損(186百万円)や
設備機器などの固定資産除却損(144百万円)などが発生

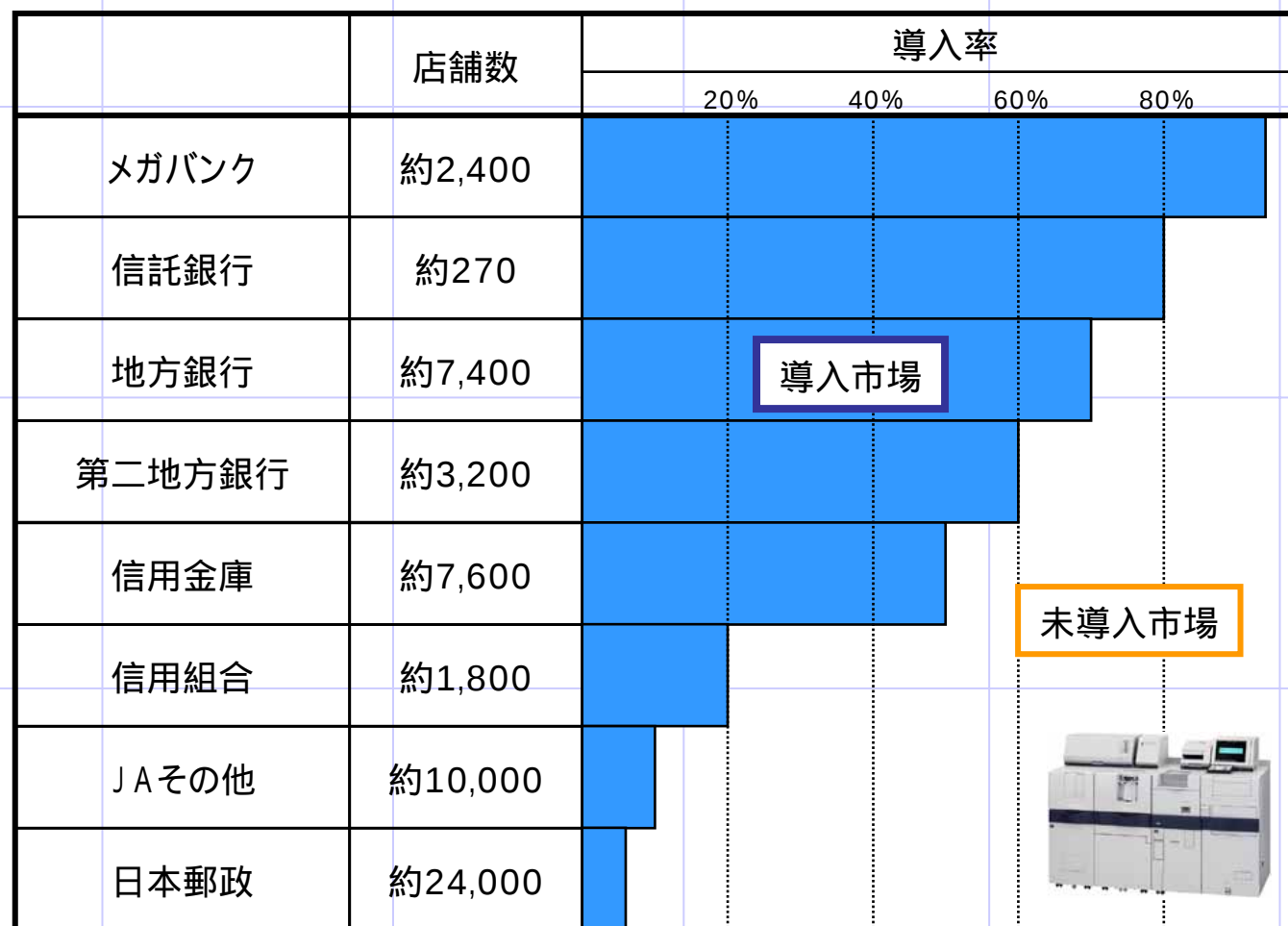
銀行の設備投資計画



● 平成20年度 金融機関 設備投資額状況

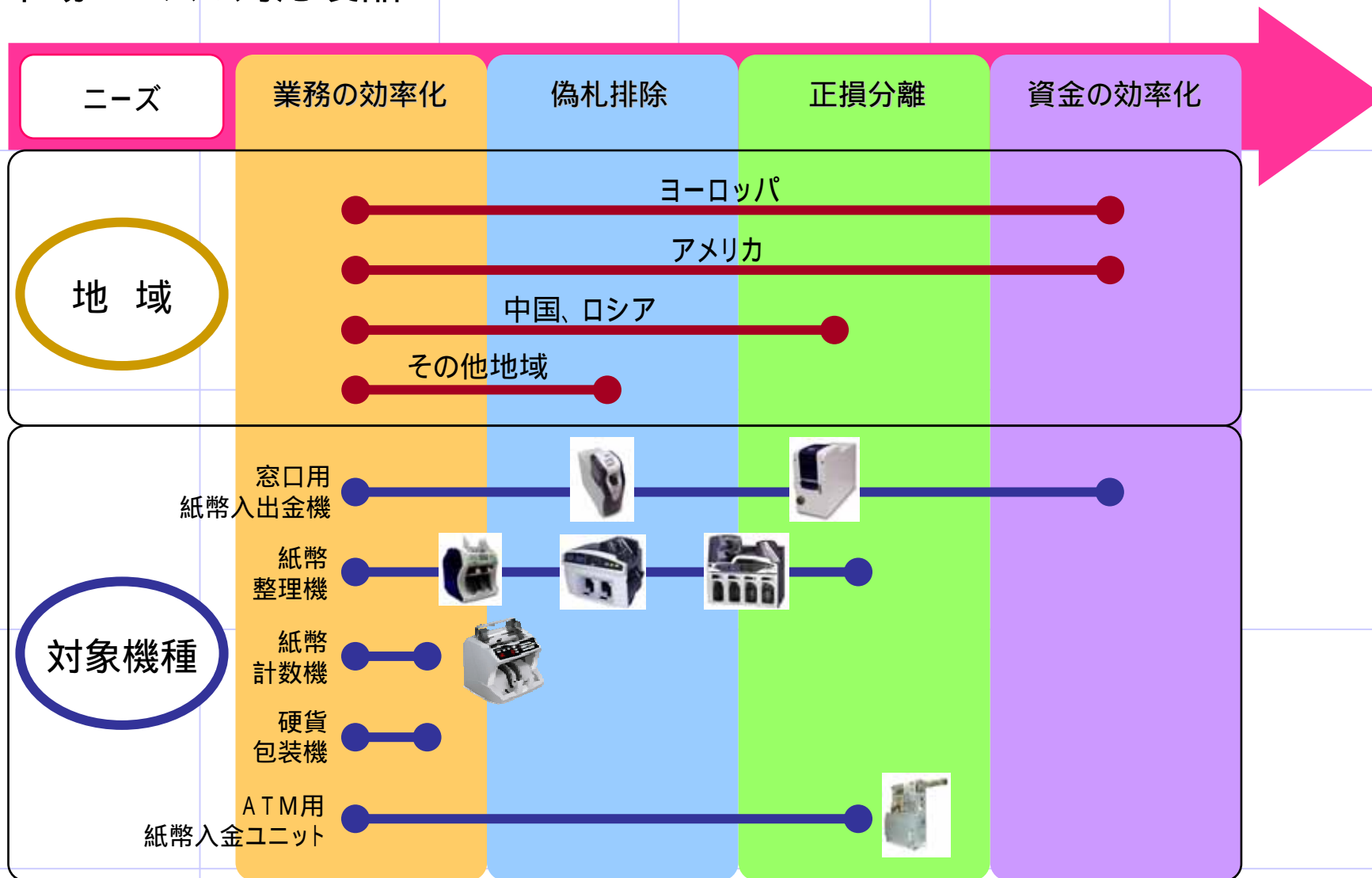


- オープン出納システムのポテンシャル



JAその他は、労働金庫、商工中金、農林中金など

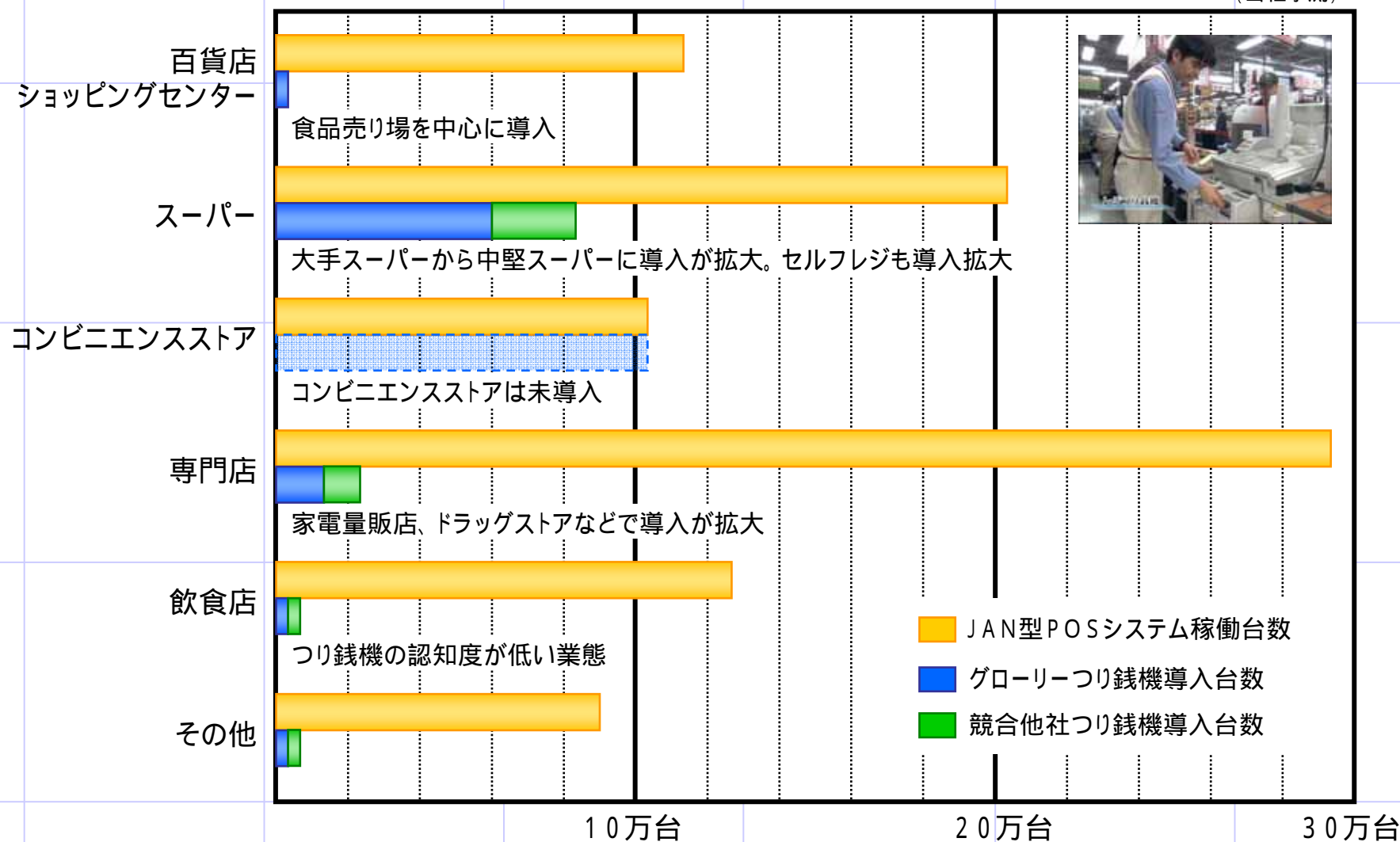
● 市場ニーズと対応製品



● レジつり銭機のポテンシャル

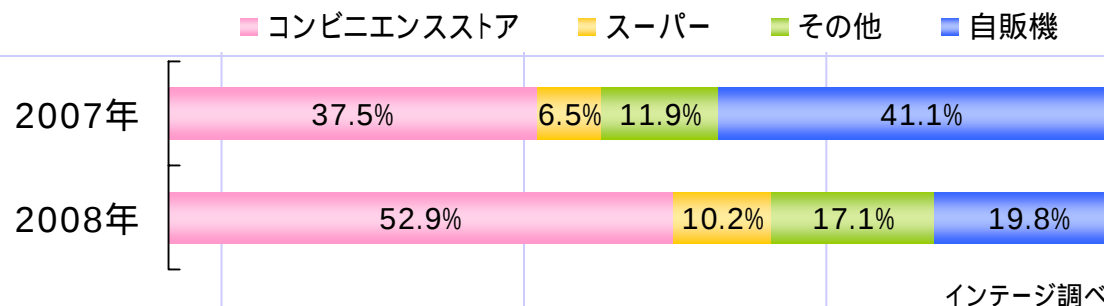
レジつり銭機の導入状況

(当社予測)



● たばこ販売機市場の動向

タスポ導入後のたばこ購入場所の変化 (07年7～8月と08年7～8月を比較)



■ タスポ関連情報 (08年10月末現在)

・発行枚数

約835万枚

・普及率

約32% (喫煙者数2,600万人から)

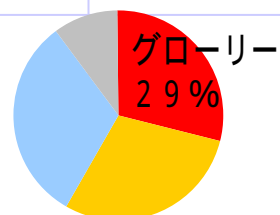
■ たばこ自動販売機設置台数

約42万台

● 券売機市場の動向

券売機のグループ内生産を開始。企画～開発～生産～販売～保守までの一貫体制を構築。

券売機のシェア



【予想市場稼働台数】
22,000台

H20/9末時点 当社調べ



2008年7月に発売されたVTシリーズ

● プリペイドカードシステムの動向

クリエイションカードの経営権取得により、グローリーのシェアは業界2位に拡大

(平成20年7月末時点)

ホール向けカード 導入店舗数	日本GC	ナスカ + クリエイション	マース	クリエイション	ジョイコ	ナスカ	セタ	合計
	4,565	2,370	1,849	1,234	1,173	1,136	302	10,259

2008年8月1日
経営権を取得

2008年10月1日
グローリーリンクスと合併

期待される
シナジー効果

- 販売ルートの拡張
- トータル提案力の強化
- グロス販売の拡大

- 生産の集約



最近の市場動向

- ・ホール数 約13,160店舗(2008年9月末時点)
- ・パチンコ人口 1,450万人(2008年レジャー白書より)
- ・従業員の負担を軽減するシステム商品(各台計数システム)が注目される。
- ・集客UPのため複数レート方式(貸し玉1円・2円・4円)で運営するホールが増加。(全体の23%)

セキュリティ



NSD



顔認証システム

■ NSD (ニュー・スタイル・ドア)

平成20年5月 YKK APより発売
電動アシスト開閉機能を備えた戸建て住宅向け玄関ドア。

■ 顔認証システム

平成20年5月発売
大学の研究施設や金融機関の事務センター等に納入。

通信サービス事業



デビット券売機

■ 業務支援サービス

・証券電子化に伴う電子公告調査サービスの需要が拡大。
・中堅警送会社への現金回収業務支援サービスが順調に拡大。

■ 電子決済サービス

パチンコホールのデビット決済端末導入店舗が増加。

■ 証券業務支援サービス

議決権集計、IR支援サービスなどが拡大。

カードシステム



オートレジスター

■ オートレジスター

メタボリック症候群対応ソフト発売。
代金と栄養素6項目、食事バランスを表示。

■ マルチリーダー

各種電子マネー決済など、1台で複数のカード処理に対応。



マルチリーダー

平成21年3月期 業績予想

売上高

昨年の大口需要の反動と金融危機による投資抑制、円高、たばこ販売機の売上げ低迷により、前年同期から減少。

利益

売上高の減少により減少。

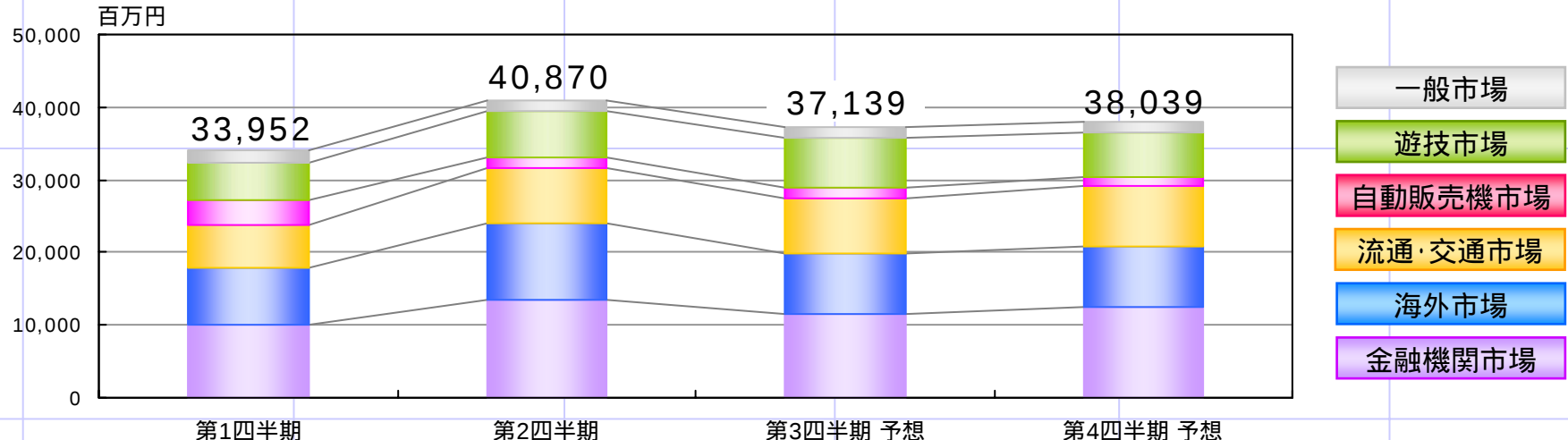
(百万円)	平成20年3月期	平成21年3月期 予想	前年同期比	平成21年3月期 通期予想 (平成20年8月8日時点)
売上高	185,181	150,000	19.0%	165,000
営業利益	22,826 (12.3%)	11,000 (7.3%)	51.8%	15,000 (9.0%)
経常利益	21,582 (11.6%)	11,500 (7.6%)	46.7%	15,000 (9.0%)
当期純利益	11,711 (6.3%)	7,500 (5.0%)	36.0%	10,000 (6.0%)

平成21年3月期 業績予想 (市場別売上高)

(百万円)	平成20年3月期 (2008年3月期)		平成21年3月期 予想 (2009年3月期 予想)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比
金融機関	68,030	36.7%	54,500 ➡ 47,500	31.7%	30.2%
海 外	31,784	17.2%	39,000 ➡ 35,000	23.3%	+10.1%
流通・交通	26,838	14.5%	29,200 ➡ 29,500	19.7%	+9.9%
自動販売機	27,882	15.1%	10,500 ➡ 7,500	5.0%	73.1%
遊 技	21,558	11.6%	23,800 ➡ 24,500	16.3%	+13.6%
その他	9,089	4.9%	8,000 ➡ 6,000	4.0%	34.0%

左側の数値は平成20年8月8日公表値

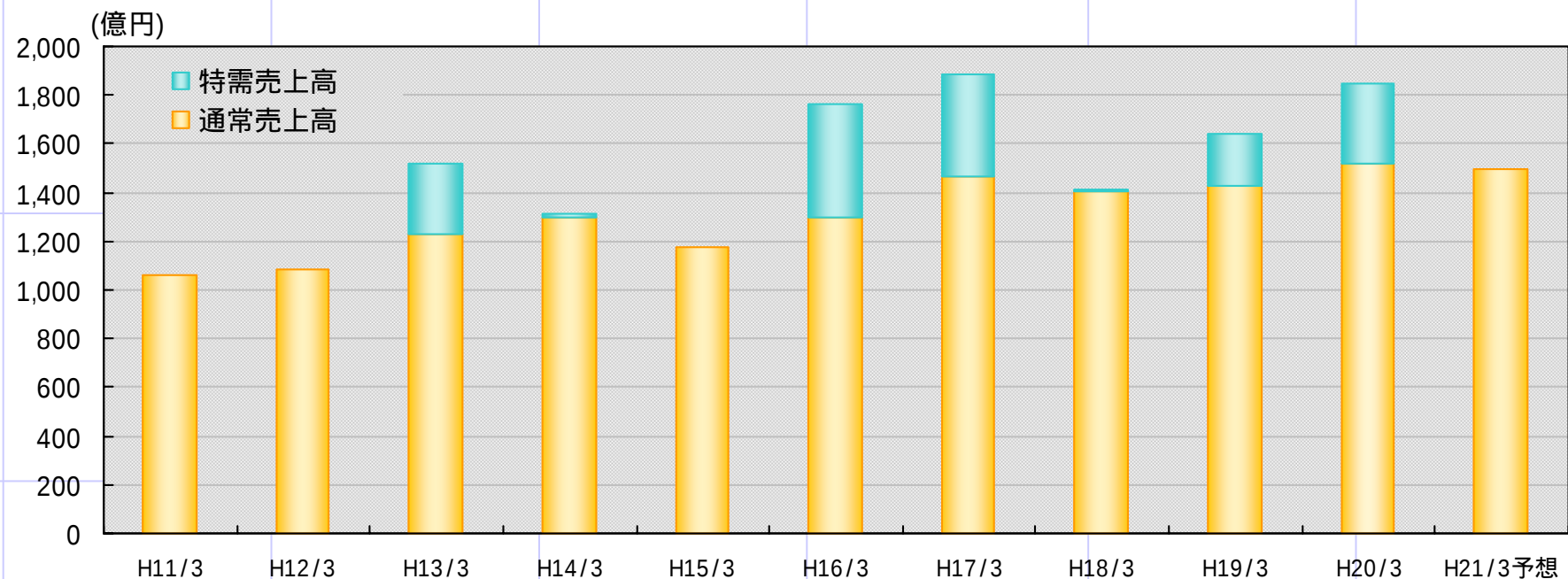
四半期毎の市場別売上高



平成21年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期 予想	第4四半期 予想	年間予想
国内金融機関	10,130 (29.8%)	13,555 (33.2%)	11,408 (30.7%)	12,407 (32.6%)	47,500 (31.7%)
海 外	7,666 (22.6%)	10,348 (25.3%)	8,493 (22.9%)	8,493 (22.3%)	35,000 (23.3%)
金融機関 合計	17,796 (52.4%)	23,903 (58.5%)	19,901 (53.6%)	20,901 (54.9%)	82,500 (55.0%)
流通・交通	5,902 (17.4%)	7,796 (19.1%)	7,651 (20.6%)	8,151 (21.4%)	29,500 (19.7%)
自動販売機	3,522 (10.4%)	1,429 (3.5%)	1,275 (3.4%)	1,274 (3.4%)	7,500 (5.0%)
遊 技	5,074 (14.9%)	6,313 (15.4%)	6,856 (18.5%)	6,257 (16.4%)	24,500 (16.3%)
一 般	1,658 (4.8%)	1,429 (3.5%)	1,456 (3.9%)	1,457 (3.8%)	6,000 (4.0%)
合 計	33,952 (100.0%)	40,870 (100.0%)	37,139 (100.0%)	38,039 (100.0%)	150,000 (100.0%)

() は構成比を表しています。

売上高の推移（過去10年）



(億円)

決算期	H11/3 (99/3)	H12/3 (00/3)	H13/3 (01/3)	H14/3 (02/3)	H15/3 (03/3)	H16/3 (04/3)	H17/3 (05/3)	H18/3 (06/3)	H19/3 (07/3)	H20/3 (08/3)	H21/3 予想 (09/3)
売上高合計	1,062	1,085	1,517	1,316	1,172	1,767	1,888	1,412	1,645	1,851	1,500
特需売上高	0	0	285	15	0	470	425	5	220	335	0
通常売上高	1,062	1,085	1,232	1,301	1,172	1,297	1,463	1,407	1,425	1,516	1,500

・2千円紙幣
・新500円硬貨
発行に関する需要

・新1万円紙幣
・新5千円紙幣
・新1千円紙幣
発行に関する需要

・郵政民営化
・たばこ販売機の成人識別対応
に関する需要

● 配当予想について

配当基本方針

自己資本をベースとした1株当たり年間30円の配当を基準とし、連結業績等の動向も勘案(連結当期純利益の25%程度を目処)した利益還元を行ってまいります。



1株当たりの配当金

	中間期末	期 末	年 間
平成21年3月期 予想	15円00銭	15円00銭	30円00銭
平成20年3月期	14円00銭	26円00銭	40円00銭
	普通配当14円00銭	普通配当14円00銭 特別配当12円00銭	普通配当28円00銭 特別配当12円00銭

● 自己株式の取得について(実施中)

自己株式取得に係わる事項の一部変更(11月26日取締役会決議)

【変更理由】 現在の市場動向等を総合的に勘案し、取得しうる株式の総数を変更

	変更前	変更後
1) 取得対象株式の種類	当社普通株式(変更なし)	
2) 取得しうる株式の総数	240万株(上限) (発行済株式総数の3.35%)	340万株(上限) (発行済株式総数の4.74%)
3) 株式の取得価額の総額	60億円(上限)(変更なし)	
4) 取得期間	平成20年9月1日～12月22日(変更なし)	

・取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計(平成20年11月26日現在)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 取得した株式の総数 | 1,232,300株 |
| 2. 取得価額の総額 | 2,123,637,300円 |

・平成20年10月31日時点での自己株式の保有状況

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 発行済株式総数(自己株式を除く) | 71,445,399株 |
| 2. 自己株式数 | 1,392,811株 |

事業体制の整備状況（上期実績）

遊技事業

クリエイションカード(株) の経営権取得

- 譲受日
平成20年8月1日
- 目的
・カードシステム事業の拡大
・販売体制の強化・拡充他

- 会社概要
・本社 大阪市浪速区
・人員数 約90人
・資本金 2億円

グローリーリンクス(株) と ナスカ(株)を合併

- 合併期日
平成20年10月1日
- 目的
・付加価値の高い総合的な
システム構築を図る

- 会社概要
・会社名 グローリーナスカ(株)
・本社 台東区上野
・人員数 約300人
・資本金 20億円

開発製造

・加西グローリー(株) ・佐用グローリー(株) の合併

- 合併期日
平成20年10月1日
- 目的
・製造機能の集約により、
コスト競争力を高める

- 会社概要
・会社名 播磨グローリー(株)
・本社 兵庫県加西市
・人員数 約200人
・資本金 5千万円

グローリーFSM(株) の設立

- 設立日
平成20年7月1日
- 目的
・当社DP関連事業の
製品開発・製造

- 会社概要
・本社 神奈川県座間市
・人員数 約50人
・資本金 300万円

中国の調達拠点 の設立

- 目的
・中国での部品調達活動を拡大し
コスト競争力を高める

- 会社概要
・光荣貿易亜州有限公司
(平成20年6月17日設立)
・光荣華南貿易(深圳)有限公司
(平成20年7月31日設立)

工場設備投資の状況

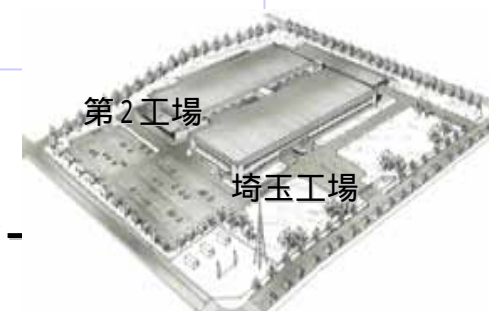
● 姫路パーツセンター建設 (H20年10月30日竣工)

- ・ 姫路物流センターに隣接する修理工場の他、メンテ機材・CESパーツを集約



● 埼玉工場・第2工場建設 (H21年7月竣工)

- ・ 工場エリアを増床し、中期的な計画の生産規模に対応
- ・ 海外調達拡大に伴う、部品、ユニットのストックエリアとして利用
- ・ 埼玉SP (ストックポイント) として埼玉工場生産品の夢前物流センターへの移送を廃止し、コストを削減する。



● 光栄電子工業・第2工場建設 (H21年5月完成)

- ・ 生産規模の拡大と中長期的な増産見通しに対応

